

名寄警察署からのお知らせ（2月）

1 バックカントリー遭難の防止

冬山は 常に危険が 潜んでる

- 無理のない計画を立て登山計画書を提出しましょう。
単独行動はせず、無理のない計画を立て、登山計画書を作成して、家族や職場等に渡すほか、最寄りの警察署又は交番・駐在所に提出しましょう。
- 万全の装備と余裕ある食料、携帯電話を持ちましょう。
登山時の装備不備や食料不足が最悪の事態を招くおそれがあります。
急激な天候の変化にも耐えられる十分な装備と、停滞時に備えて食料や燃料等を準備し、万一の遭難に備え、携帯電話を必ず持ちましょう。
- 気象情報等の確認をしましょう。
入山前には必ず最新の天気予報、自分の技術に見合った地形・滑走ルートかを確認し、雪崩の危険性についても確認し、慎重に行動しましょう。
- スキー場の標識や注意事項を守りましょう。
スキー場コース外の滑走は、雪崩の発生や立木への衝突などの危険があるので、スキー場の注意事項をきちんと守りましょう。
- 撤退する勇気を持ちましょう。
悪天候、視界不良時等には、途中で引き返す、撤退するなどし、安全な行動を取りましょう。

2 冬道での交通事故防止

ストップ・ザ・交通事故 ～めざせ 安全で安心な北海道～

- スピードダウンと慎重な運転
冬道には、圧雪、アイスバーン、ブラックアイスバーンなど様々あり、どの路面でも車はすぐに止まることはできません。時間帯や場所によって道路状況は変化し、スリップ等による正面衝突や路外逸脱事故、追突事故が発生する可能性がありますので、スピードダウンと道路状況に合わせた慎重な運転に努めましょう。
- 時間に余裕を持った運転
天候や道路状況により、目的地まで予想よりも時間が掛かる場合があります。
時間に余裕がないと、先を急いで安全確認が疎かになるなど交通事故に繋がる可能性がありますので、事前に目的地までの道路状況や天候を確認して、時間に余裕を持った行動に心掛けましょう。
- 「急」のつく運転操作は危険
急発進、急ハンドル、急ブレーキといった「急」のつく運転操作は、冬道における危険行為となります。
車を発進、停止させる際はゆっくりとペダル操作を行い、道路状況に応じたハンドル操作に心掛けましょう。
- 交差点の死角に注意
道路脇には、雪山ができてドライバーや歩行者からの見通しが悪くなります。

ドライバーの皆さんは交差点に接近した際は、「車が来ているかもしれない」、「歩行者が横断するかもしれない」と予測するとともに、見通しが悪い場合は徐行しましょう。

歩行者の皆さんも交通ルールを守るとともに、見通しの悪い場所では左右の安全をしっかりと確認しましょう。

○ 悪天候に注意

吹雪による視界不良やホワイトアウトなどが発生した場合には、多重衝突など重大な交通事故に繋がる可能性があります。悪天候の場合は不要不急の外出は控えるようにし、突然の視界不良等が発生した場合でも慌てることなく、スピードダウンで安全運転に努めましょう。

また、万が一の立ち往生等に備えて防寒具やスコップ等を車に準備しておきましょう。

3 違法・迷惑駐車防止

ダメゼッタイ みんなが困る 迷惑駐車

○ 道路を狭くして通行の妨害になります。

違法駐車があるために、交通渋滞を引き起こし、スムーズな車両走行ができなくなることがあります。また、歩道上駐車は歩行者の通行を妨げます。

○ 交差点付近での事故の原因となります。

交差点付近の違法駐車は、通行する車両や歩行者の見通しを妨げ、交差点事故の原因となります。

○ 緊急車両の活動を妨げます。

狭い道路に違法駐車があるときは、他の車両が通行不能となります。特に、消防車や救急車などの緊急車両の活動を妨げ、人命救助に重大な影響を与えます。

○ 歩行者事故などの原因になります。

住宅街での違法駐車は、駐車車両の直前や直後から幼児、児童の飛び出しによる事故や、夜間には走行車両が駐車車両に気付かずに衝突するなど、交通事故の原因にもなります。

○ 除排雪作業の障害となります。

違法駐車が除排雪作業の妨げとなり、住民に迷惑をかけ、生活にも重大な影響を与えます。

4 安全運転相談ダイヤル（#8080）の拡充

運転に不安を感じたらまずは相談

高齢ドライバーのみなさんやその家族のみなさん。

運転に不安を感じたら、まずは相談気持ちハレバレ（8080）

#8080に電話してください。

〈警察本部運転免許試験課〉

5 サイバーセキュリティに関する普及啓発強化

#サイバーセキュリティは全員参加

政府では、毎年2月1日から3月18日までの間を「サイバーセキュリティ月間」としており、道警察においても、同期間中、サイバーセキュリティに関する広報啓発活動を集中的に推進しています。

近年、インターネット空間は、経済社会の必要不可欠な基盤となり、人々の生活に様々な恩恵をもたらしている一方で、ネットバンキングに係る不正送金事案や、偽サイトに係るフィッシング詐欺事案、ランサムウェア等の不正プログラム事案等、国民生活を脅かすサイバー犯罪の危険性が社会全体で大きく取り上げられています。

サイバー犯罪の被害に遭わないようにするため、次の対策を実施しましょう。

- IDやパスワードは、自分自身でしっかり管理する
 - パソコンやスマートフォンには、ウイルス対策ソフトをインストールする
 - パソコンの基本ソフト（OS）やウイルス対策ソフトは常に最新の状態にしておく
 - 身に覚えのないメール等の添付ファイルやURLは開かない
 - 不必要なアプリや信頼のおけないサイトからソフトウェアをダウンロードしない
 - 定期的にバックアップデータを保存する
 - オンラインショップでの買い物では、そのサイトが本物かどうかよく確認する
- サイバーセキュリティは、一つの対策を講ずれば大丈夫という訳ではありません。

複数の対策を併用し、また、危機意識を持って、インターネットを安全に利用しましょう。